

校長だより

八幡台小学校

2024.5.24(金)

NO. 12

「ネット・SNS 社会の光りと闇」

和歌山市少年センターの白樫指導主事に、3年生に向けて上のテーマで話をしてもらいました。SNSでのトラブルは、こじれば大きな問題となることもあります。そういったことを踏まえ、SNSの現状について、子どもたちにわかりやすく話をしてもらいました。その話について、保護者の皆さんとも共有しておきたいと思います。

まず、基本事項として以下のことを具体例を通じて話してくれました。

- ・インターネットは世界中とつながっている
- ・ネットに送った情報を完全には消すことは難しい
- ・ネットは犯罪に利用されることもある
- ・ネットを利用するには「人権意識」が大切になる

また<多発する勘違い>として、次のようなことを丁寧に説明してくれました。

- 言葉の勘違い:短い言葉のやり取りで生まれる誤解 ラインのやり取りなど
- オンラインゲームの世界での言動:現実とゲーム世界の区別がわからなくなり、普段では言わないようなことも書き込んでしまう
:課金、アイテムのやり取りで10数万の支出も

こういったことを踏まえ、SNSでのやり取りでは

- 相手の気持ちを考えよう
- すぐ返信がなくても気にしないでおこう
- 自分が言われたらどう思うか考えよう

ということに特に気を付けてほしいと話してくれました。また、

「SNSには運動会や修学旅行などの写真をUPすることはやめよう 悪用する人がいたり、トラブルに巻き込まれることも 炎上してしまう心配もある」

「不適切動画などの悪ふざけで多額の損害賠償を請求されることもある」

「小学生でも社会的責任がある」

「送信、書き込みは一瞬 記録は一生残る」

「誹謗中傷、性的画像、悪ふざけ動画は自分のキャリアを傷つけることもある」

「インターネットを介して実際に人と会ってはいけない(未成年)」

と子どもたちにしっかりと話をしてくれました。

SNS やネットは便利なツールですが、子どもたちの利用については保護者の方の責任の下で利用するよう、よろしくお願ひしたいと思います。